

11月までの「活動記録」

今年もあと1ヶ月。早いもので、今日から12月。猛暑が続いたが、朝晩は急に寒くなってきた。9月半ばから後期高齢者となり、「杖つき老人」ではあるが、大阪を動き回っている。やる気だけは満々。

手帳には「活動記録」のようなものを記している。一昨日の大阪市会本会議傍聴など、132の項目が並んでいる。12月分は年末にレポートすることにして、とりあえず11月までを振り返っておきたい。

- ・昨年7月に提訴した「夢洲 IR 差し止め訴訟」関係。1月5日の原告・弁護団ズーム会議から始まり、弁論期日・報告会、記者会見、膨大な IR カジノ誘致や訴訟資料の検討などを行ってきた。夢洲 IR 実施協定などが締結されたが、重大な問題点も明らかになっている。とりわけ2月11日に堺で住民訴訟について原告の一人として講演して、多額のカンパを頂戴したことが忘れられない。

- ・大阪市会への陳情と傍聴。IR カジノや万博、定数問題などで、市会の開会前に陳情書を提出してきた。その審査を見届けるためにも、委員会を傍聴してきた。11月22日には4本の陳情書を提出して、来週の委員会審査を怒りを膨張させて傍聴する。なお、大阪市立高校の府への移管・無償譲渡に関する住民訴訟についても、毎回傍聴を続けてきた。残念ながら、原発賠償関西訴訟は傍聴できていない。

- ・レポートとラジオ。長年にわたる毎朝のレポートも、休みなくつづけてきた。たまに掲載が遅れると、心配してくれる人も。ありかだいことだ。今年はとくに夢洲万博と IR カジノ関係レポートが多いが、住民訴訟のこともあり、お許し願いたい。レポートなどを材料にして、UCO(コミュニティ市民情報局ユーシーオオサカ)ラジオ番組に出演している。毎回10分余の番組で、6月から21回にもなる。つい「ユーシー」、こんな番組を知っているかいと言いたくなる。視聴率が気になる。

- ・研究会など。11月までの活動記録は、住民訴訟や大阪市会に関することが多いが、少ないながらも調査研究についての記録もある。2年前からズームにより毎月、土曜日に開催されている国家経済研究会には、休まず参加してきた。若い研究者の研究報告を聴くのが楽しみであり、なるべく事前に準備してコメントしている。私にとって貴重な研究の「居場所」だ。

もう一つの「居場所」が背広ゼミである。こちらは京都で毎月開催される、宮本憲一先生のゼミ卒業生らによる伝統あるゼミ。リアル参加を心がけており、淡路まで自転車、それから阪急電車で京都に。文献報告が中心であり、私も何回か報告してきた。なんといっても、宮本先生の隣で鋭いコメントを生で聴ける。ゼミ後の懇親会も、先生の隣で美味しい料理とお酒、示唆に富むお話を堪能してきた。これからも続けていきたい。

(2023年12月1日)